



イマジン ローターリー

IMAGINE
ROTARY

1963年3月23日創立 週報2836号 第2883回例会

2022年(令和4年)9月7日

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

9月は基本的教育と識字率向上月間です

2022-23年度
国際ロータリー会長
ジェニファーE. ジョーンズ

会長 堂園 光一郎 幹事 永田 健吾 会報雑誌委員長 萩原 徹

◆例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
◆事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL:099-223-5902 FAX:099-223-7507

本日の主要 プログラ ム クラブフォーラム (ロータリーの友)

- ① 国歌斉唱・ロータリーソング (奉仕の理想) ② 会長あいさつ
③ 会務報告 ④ 出席報告 ⑤ ニコニコBOX披露

ロータリー体験

会長 堂園 光一郎

ロータリアン諸先輩方に自己紹介と称する、「ロータリー体験」をお願いしています。何故体験をお願いするのか、それはここ10年間、特に5年間ロータリーは目まぐるしく変わってきたことに起因する。ロータリーの法律ともいえる2019年手続要覧にその事が書かれている。＜1905年にロータリーが設立されて以来、個人的、職業的なつながりを築き、人びとのニーズに応じて奉仕することがロータリーの中核となってきた。世界中のクラブでこのような経験ができることは、ロータリーの強さの証である。ポリオ根絶を成し遂げようとしている今、ロータリーは次なる挑戦への構えができています。より多くの人を結びつけ、より大きなインパクトをもたらす、世界中で持続可能な変化を生むための新たなビジョンの実現に向けて前進するときが来ている。今日の世界は、ロータリーが誕生した1905年の世界とは異なる。人口構成は変わり、変化の速度は増し、テクノロジーによってネットワークと奉仕のための新しい機会が生まれている。＞

この一節に、不易流行の流行と言える、RIからのビジョン声明、戦略計画の重点項目、4つの活動計画などのエッセンスが織り込まれている。

ロータリー含め足元を見ると、どの組織、企業、コミュニティにおいても市場変革の加速、労働人口の変化、終身雇用の崩壊など、少子高齢化の波が押し寄せている。テクノロジーによって、知識・専門性レベル、オペレーション能力、スキルアップ、指示のもとで素早く、確実に、多く実行すること、これらはAIにとって代われようとしている。2025年に機械と人との仕事の割合はそれぞれ50%になると言われる。

これからの人間のすべき役割は、将来に必要とされる新しいアイデアを生み出す力、表面化していない問題などをいかに見つけられるか、すなわち自ら新しい価値を創造するための「問い」を組織に提供するなど、人間と組織とのさらなるエンゲージメントが重要になると言われている。テクノロジーがもたらす変革によって、組織に必要な人材や経験者をもつ社内体験は大事である。まさしくこれは、我がクラブにおけるロータリー体験と言える。各々のロータリアンには様々なアイデンティティーがあり、この体験はAIからは導き出せない「問い」となる大事なヒントが隠されている。今回、社員体験ならぬロータリー体験から《奉仕のための新たな機会》が発掘されることを期待してお願いするに至った。

